

# 図画工作科学習指導案

1年2組 大和 明日香

## 1. 題材名 「 はっけん! かおかお たんけんたい 」

## 2. 研究主題

造形活動を通して育む未来そうぞうの資質

### (1) 題材について

本題材は、身の回りに隠れている「かお」に見立てることができるものから自分なりのイメージを広げたり、普段使っている図工バックや小物入れなどで「かお」をつくったりして、その形や色などから、おもしろさに気づいたり、楽しさを感じ取ったりする活動である。

1年生の子どもたちは、今までに、アートカードを使ったゲーム(神経衰弱、ポーズあて、YesNo クイズ)を経験しており、美術作品に触れるおもしろさを感じ、「もっとやりたい!!」と目を輝かせていた。また、お気に入りのカードを紹介する際には、自分がどうしてそのカードが気に入ったのか、選んだ理由を形や色、カードから受ける印象などで友だちに伝えていた。その際に、言葉では言い表すことができない自分だけの意味や価値をなんとか表現しようと擬音語を使ったり、体を動かしたり、友だちとの会話を通して自分が伝えなかった思いに気づいたりしている姿が見られた。

本題材では、既存のアートカードではなく、4年生が見つけた「かお」に見えるものに焦点をあてたアートカードを扱う。子どもたちにとって、このアートカードは「どこかで見た身近な景色」の一部が切り抜かれたものであるだろう。普段、自分が何気なく過ごしている場所の中にある、いろいろな〈いいこと〉に気づくきっかけになるのではないかと考えた。そして、4年生が見つけた「かお」とじっくりと向き合い、その形や色、大きさや向きなどの造形的な特徴に目を向け、自分なりにイメージしたことを図鑑にしていく。次に、今自分たちの身近にある図工バックや小物入れなどで「かお」をつくる。自分たちの身の回りにあるものが、用具としての使い方ではなく、目になったり口になったりすることで、もともとあった意味や価値とは違うものに生まれ変わることを通して、新しい意味や価値を見出ししていくことができるよう支援していきたい。また、友だち同士でつくったかおや、見つけたかおについて伝え合う場を設定し、友だちに自分の活動を認められることで、自分の表現に自信をもち、友だちの作品や活動のよさを捉えやすくなっていく。伝え合うことによって、同じ用具をつかっていても、その向きが違っていたり、同じように置いていても、違う見え方をしていたりすることに気づき、その違いを楽しむことができるようにしたい。

一人ひとりが活動の中で生み出されていくものと関わりながら、思いついた〈いいこと〉を楽しみ、広げていくよう願っている。

### (2) 題材の目標

○形や色がつくり出す「かお」に関心をもち、楽しみながら活動に取り組もうとする。

(造形への関心・意欲・態度)

○好きな形や色の「かお」を選んだり、自分なりの見え方を考えたりする。(発想や構想の能力)

○思いついた「かお」を表すために工夫をしている。(創造的な技能)

○身の回りにある「かお」から、見え方の工夫や形や色のおもしろさに気付いている。(鑑賞の能力)

### (3) 図画工作科と未来そうぞうとのつながり

目の前に並んだたくさんの「かお」のカードは、子どもにとってとてもおもしろく、「他にはどんなものがあるのだろう。」と次が見たくなるような魅力的なカードである。その中から、同じカードを選んでいても、理由がちがうことに気づいたり、自分が選ばなかったカードに、友だちが「すごい!」と意味や価値を見い出している姿に出合ったりすることを通して、一人ひとりの感じ方の多様性を感じていくことになる。また、身近なものを使って「かお」をつくる活動では、自分で思いついたことを工夫しながら表現したり、友だちの活動を見たりすることによって、人とはちがう見方を受け入れ、それぞれが「おもしろいな。すてきだな。」と感ずることができる。このような活動が育む、意味や価値を変化させたり、新たに発見したりしていく力が未来そうぞうにおける「創造的実践力」の素地につながると考える。

### 3. 準備物

教師：4年生がつくった「かお」のアートカード・ワークシート

児童：図工バック・小物入れ・筆記用具

### 4. 指導計画（全3時間 本時1／3時間）

○第1次 身の回りにあるおもしろい形や色の「かお」から図鑑をつくる。（1時間 本時）

○第2次 身の回りにあるものをつかって「かお」をつくる。（2時間）